

月 旬	9			10			11			12			1			2			3			4			5			6			7			8			9		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
生育 ステージ	「水稻(移植)」			播種期			田植え			分けつ期			最高分けつ期			幼穂形成期			出穂期			登熟期			成熟期														
管理 作業	●堆肥の施用	●深耕					●耕うん	●塩水選・種子消毒	●播種	●畦畔作り		●基肥施用	●代かき	●箱施肥剤散布	●田植え(基肥施用)		●除草剤散布		●中耕・草取り	●畦畔管理				●穂肥施用	●畦畔管理		●斑点米カメムシ類	●いもち病防除	●ヒエ抜き	●畦畔管理	●収穫・乾燥・調製		●稲わらの鋤き込み						
水管理							【深水】																																
栽培 の ポ イ ン ト	1. 土づくり			2. 作土層の拡大			3. 基肥			4. 穂肥			5. 育苗			6. 田植え			7. 雑草防除			8. 病害虫防除			9. 水管理			10. 収穫・乾燥・調製											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>有機物の補給として、稲わらの鋤き込みを行う。</li> <li>堆肥等の施用を積極的にいき、地力維持に努める。</li> <li>マルチホート2号を10a当たり1~2袋(基肥または追肥)施用。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>深さ15cmを目標とした耕耘を行い、根域を拡大する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>マイルドユーキ030号を30~40kgを目安に施用する。</li> <li>側条施肥田植機にも対応可能。</li> <li>基肥一発肥料の場合は、マイルドコート200号を40~50kg又は、シリカユーキ1発を30~40kg施用する。</li> <li>ペースト肥料の場合は、ニューフレーザーペーストを20~30kg施用する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>黄金ユーキ28号、又はNKマイルド028号を出穂前20日を目安に(幼穂長0.5~1cm)施用する。</li> <li>施用量は、10~20kgを目安に施用する。</li> <li>施用遅れは、粗タンパク質含有率を上げ、食味に影響をおよぼすので注意する。 (化学チッソ量4.5kg以下)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>種子消毒は、温湯消毒又は、微生物農薬エコホープDJの200倍24時間浸漬で行う。(陰干しは、しない!)</li> <li>播種量は、催芽糲で120~150g/箱の薄播きとする。</li> <li>ハウス内の温度管理とかん水量に注意し、健苗育成に努める。特に30℃以上の高温に注意する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>育苗日数は20~25日とし、2~2.5葉期で移植する。(徒長苗に注意!)</li> <li>移植時に初期害虫防除、スクリンゴガイの食害防止を目的に、パダン粒剤4を箱あたり60~100g使用する。</li> <li>1株当たり3~5本、栽植密度は㎡当り18.5株密植に注意する。(坪60株植え)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>秋冬期の耕うんを行い、雑草の発生量の抑制に努める。</li> <li>生育中の畦畔管理は、草刈り機又は、バスタ液剤(2回迄)やラウンドアップマックスロード(3回迄)を散布する。</li> <li>除草剤散布については、一発処理剤のコメット剤を田植後30日迄に散布する。</li> <li>雑草の発生が多い場合は、手取り又は中耕を行う。</li> <li>藻類の発生が多い場合は、モゲトン粒剤を散布する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>畦畔及び農道などの雑草は、病害虫の発生に影響するので、草刈りを行い水田周辺の環境保全に努める。</li> <li>本田後期の病害虫防除は、無人ヘリ・地上防除に対応する。(トップジンMザル・キラップ【粒剤・フロアブル剤】)</li> <li>スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の防除については、スクミンベイト3を発生時に散布する。</li> <li>稲こうじ病については、ドイツボルドーAを出穂10日前迄に散布する。(薬害注意!)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>田植え初期は深水、活着後は浅水で管理し分けつを促進する。</li> <li>有効茎数確保後(1株当たり18本前後)、中干しに入り無効茎数と下位節間の伸長を抑制する。</li> <li>落水時期は、出穂後25日以降とする。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>収穫は、帯緑色もみ歩合15%を目安に適期に行う。</li> <li>乾燥は、水分14.5~15%とし、過乾燥に注意する。</li> <li>調製は、グレーダーの網目は1.8mm以上で選別する。</li> </ul>											

※使用量は、10a当たり。  
 ※●マイルドユーキ030号(10-13-10) 有機態チッソ5.3%、無機態チッソ4.7% ●マイルドコート200号(12-10-10) 有機態チッソ6.1%、無機態チッソ5.9%  
 ●シリカユーキ1発(15-8-8) 有機態チッソ3.8%、無機態チッソ11.2% ●ニューフレーザーペースト(8-4-6) 有機態チッソ4%、無機態チッソ4%  
 ●黄金ユーキ28号(12-4-12) 有機態チッソ1%、無機態チッソ11% ●NKマイルド028号(10-2-8) 有機態チッソ5.3%、無機態チッソ4.7%